

## 学会(総会・地方会)における発表時の利益相反状態の開示について 要項1

### ●口演(シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題など)スライドを用いて発表する場合

1)開示方法は、発表時のスライドに開示例①のFORMAT(3ページ)で開示してください。

2)表記は発表が日本語であれば、日本語版 様式1(3ページ)、  
また英語であれば、日本乳癌学会HPの英語版FORM1に準拠して作成してください。

3)金額については発表時に様式1の金額の項目(2ページ)を参照し、該当する項目があれば  
該当の列の【あり】を残し、【なし】を削除してください。また、  
該当がなければ【なし】を残してください。

開示例①の具体例(4ページ)

### ●POSTER(POSTER DISCUSSIONを含む)

1)開示方法は、POSTERなどのCONCLUSIONの後に記載してください。(5ページ)

2)表記は日本語版 様式1、または乳癌学会HPの英語版FORM1に準拠してください。

学会(総会・地方会)における発表時の利益相反状態の開示について  
要項2 様式1から

筆頭演者の利益相反自己申告書

	金額
(1) 役員・顧問職	100万円以上
(2) 株	利益100万円以上/全株式の5%以上
(3) 特許使用料	100万円以上
(4) 講演料など	50万円以上
(5) 原稿料など	50万円以上
(6) 研究費※	100万円以上
(7) 寄附金※	100万円以上
(8) 訴訟等の顧問料など	
(9) 研究員の受け入れ	
(10) 寄付講座	
(11) その他報酬	5万円以上

※1つの企業や営利団体から申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた額



## 筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり ・ なし	
(2) 株	あり ・ なし	
(3) 特許使用料	あり ・ なし	
(4) 講演料など	あり ・ なし	
(5) 原稿料など	あり ・ なし	
(6) 研究費	あり ・ なし	
(7) 寄附金	あり ・ なし	
(8) 訴訟等の顧問料など	あり ・ なし	
(9) 研究員の受け入れ	あり ・ なし	
(10) 寄付講座	あり ・ なし 職名： (専任・兼任)	寄付講座名：
(11) その他報酬	あり ・ なし	



The Japanese Breast Cancer Society  
since 1992



### 筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー
(7) 寄附金	なし	
(8) 訴訟等の顧問料など	あり	Xベンチャー企業
(9) 研究員の受け入れ	あり	D製薬、G企業
(10) 寄付講座	あり 職名：講師 (専任)	H製薬〇〇講座
(11) その他報酬	あり	I化粧品会社、J生命保険会社、 K出版社

4ページ:例題(すべての項目に該当なしの場合)



**The Japanese Breast Cancer Society**  
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

## POSTER DISCUSSION or POSTER

### 筆頭演者の利益相反状態の開示

	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー
(7) 寄附金	なし	
(8) 訴訟等の顧問料など	あり	Xベンチャー企業
(9) 研究員の受け入れ	あり	D製薬、G企業
(10) 寄付講座	あり 職名：講師 (専任)	H製薬〇〇講座
(11) その他報酬	あり	I化粧品会社、J生命保険会社、 K出版社

5ページ:開示用 ポスター(すべての項目に該当しない場合)

## POSTER DISCUSSION or POSTER

筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし